

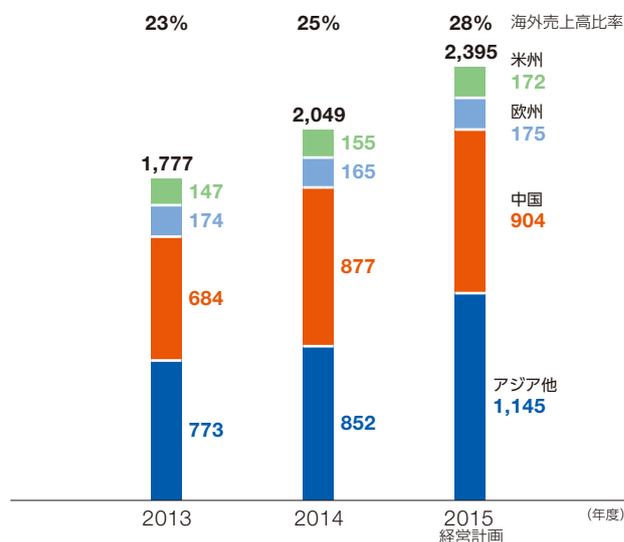
事業概況—海外事業

2014年度業績

海外売上高は、需要増に加え、為替換算差による増収効果もあり、全セグメントで前期を上回り、272億円増の2,049億円となりました。海外売上高比率は、2ポイント増の25%となりました。

地域別では、アジアは火力・地熱発電の大口案件の売上計上およびパワエレ機器の需要増、中国はパワー半導体、自販機を中心とした売上拡大により、いずれも前期を大幅に上回りました。米州はドライブ分野を中心に伸長し、前期を上回りました。一方、欧州は低調に推移しました。

海外売上高(地域別)
(億円)



2014年度の主な取り組み

シンガポール低圧配電盤メーカーの買収・子会社化

2014年12月、低圧配電盤・通信装置盤の有力メーカーであるSMB Electric Pte. Ltd. (以下、SMBE)を買収し、子会社化(富士SMBE社)しました。

SMBEは、シンガポール・マレーシア・インドネシア・オーストラリアで事業展開し、データセンター、商業施設、産業プラント・工場設備などに多くの納入実績を有しています。

当社が保有する商流に加え、SMBEのアジア・パシフィック地域における販路およびエンジニアリング力を活用し、同社の低圧配電盤と当社のパワエレ機器を組み合わせた産業プラント・システム商談を拡大します。また、新たに中圧配電盤の生産に取り組み、新規市場の開拓を目指します。



富士SMBE社



低圧配電盤

タイ生産拠点の本格稼働

アジア・欧米向けパワエレ機器(インバータ、無停電電源装置など)の中核生産拠点である富士電機マニュファクチャリング(タイランド)社にて、変電機器(ガス絶縁開閉装置)に加え、中国・アジア向け自動販売機「Twistar」の生産を開始し、複数事業の生産拠点として稼働が本格化しました。



ガス絶縁開閉装置

富士タスコ社による拡販活動を強化

2013年10月にタスコ・トラフォ社に出資し発足した富士タスコ社にて、電力用変圧器の生産を開始し、2014年8月に初号機を出荷しました。製品ラインアップを拡充するとともに、相互の商流を活かし、拡販活動を強化していきます。



電力用変圧器

2015年度経営計画・主な取り組み

海外売上高は、前期に比べ346億円増の2,395億円を目指します。

アジアでもものづくり・エンジニアリング体制を強化するとともに、米国・インドで地産地消をさらに推進していきます。また、現地に根差した人材・商流を獲得するため、新たなM&Aなどを実施します。地域別の取り組みは、下記のとおりです。

アジア

火力・地熱発電および電力流通を中心とするスマートコミュニティ分野の受注拡大に取り組みます。変電事業では、ものづくり・エンジニアリング体制の強化により受注拡大を図ります。また、インバータ組立工場をインドに設立するとともに、インバータ、無停電電源装置などのパワーエレクトロニクス機器の新製品投入、富士SMBE社を起点とした盤事業の強化により、パワーエレクトロニクス機器の受注・売上拡大を図ります。

中国

上海電気との協業関係の強化、新製品を中心とした拡販などにより、パワーエレクトロニクス機器の売上拡大を図ります。また、需要拡大が見込まれる自販機は、販売体制の強化により、売上拡大を図ります。

欧州

燃料電池の販売を強化するとともに、インバータなどパワーエレクトロニクス機器の新製品投入を加速します。また、新エネルギー向けパワー半導体の需要増を背景に、売上拡大を図ります。

米州

火力・地熱発電のサービス事業強化により受注拡大を図るとともに、更新需要の増加が見込まれる鉄道車両において米国生産を立ち上げ、受注拡大を図ります。また、インバータ、無停電電源装置などの新製品投入を加速し、パワーエレクトロニクス機器の売上拡大に取り組みます。

海外連結子会社 (2015年7月1日現在)

2015年3月末から **18社増** → **43社**

